

「New Born」 ～あなたはつかいこなしていますか？～

Ⅱコリ5：15～17

今日は1月1日元旦です。2012年がスタートしましたが、私たちの心は晴れやかでしょうか。私たちは新しい年を迎えるとこの1年はどのような年になるのか希望を持ちますが、願っていることは平凡に、何事もなくすごしたいとも思っています。英語で新年の事をこのように表現しています。“A Happy New Year” 新年が喜びに満ち、幸せであるようにという意味がこめられています。この教会に集った方々には特に、幸せな1年になるように願っています。なぜなら聖書にはこのように書かれているからです。「あなたがたがわたしを選んだではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。（ヨハネ15：16）」私たちは実を結ぶために神によって召し集められたからなのです。私たちの人生を振り返ってみるとどのような実が残っているのでしょうか。「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています（ローマ8：28）」とあるように私たちには喜ばしく思えない過去や現実がありますが、神は全てを益として下さいます。私たちにとっては苦しみと言えるようなことでも必ず喜びに代えてくださるのです。聖書は苦しみだけで終わらす事はありません。むしろ夕があり朝があるように、苦しみの中で訓練を受け、脱出の道が備えられ（Ⅱコリ10：13）、そして喜びに至るのです。（Ⅱコリ5：15～17）私たちはキリストにあって新しく造りかえられているのでしょうか。それは私たちの考え方や行動も新しくなる必要があります。私たちはメッセージなどで新しい生き方を聞き、新しい考え方で生きていこうとしますが、私たちの心には古い生き方に戻るように「…とはいいてもね」と囁きが聞こえてくる時があります。この「…とはいいてもね」は私たちの人生を停滞させます。それは私たちのやる気を失わせるからです。そして段々と「私だけどうしてこんなめにあうのか」と思うようになります。しかし私たちが教会に来る意味は古い自分を捨て、どのように生きていくのかを見つめ考えることにあります。これを見つめることができれば、結果は必ずとついてきます。そして私たち自身がもう一度何のために生きているのかを理解し、どのような能力、賜物があり、素晴らしいのかを見る事ができれば、それを用いる事が私たちの喜びになります。そしてそれを用いれば、周りの人々が喜ぶことができ、自分の素晴らしさを確認する事ができます。私たちの古い考え方は他人と比較しながら自分を卑下していることが多いかもしれませんが、そんな事は必要ありません。私たちの素晴らしさを気づかせるためにキリストは大きな苦しみを乗り越え、十字架にかけられ私たちの身代わりとなりました。それだけ私たちには愛される価値があり、素晴らしい存在なのです。その素晴らしい自分をどのように用いていくのかを知るために教会に来ているのです。私たちが新しく生きるために**①あなたの素晴らしさを知ることです**。私たち自身が素晴らしい存在であることを知らなければ、用いる事ができません。では自分の良いところはどのようなところにあるのでしょうか。と考えても見つけにくいかもしれません。しかし悪い所を挙げるなら容易にできるのではないのでしょうか。私たちは自分の良いところを見る事ができなければ、周りの人々の良いところを見つめることもできません。自分を否定的に見ているから、他人も否定的に見ていて、“あの人はマシ”と考えてしまいがちです。まずは私自身の良いところを探していきましょう。そして見つかったのであれば、それを用いて良い事をしていくようにしましょう。新しく生きるために**②古い標準に立たない**。私たちをダメにするのは私たちにある古い“標準”という考え方です。日本人が大好きな“普通”という考え方です。これは私たちの個性を取り去り、みんなと一緒にというような1つの考え方にするための方法です。聖書には個性を捨てるという概念はありません。むしろそれぞれの個性を生かし、周りとの協力しながら1つのものを創り上げることを願っています。私たちの標準は相対的な価値観の中で見出しははいけません。私たちはそれぞれが唯一の存在とならなければなりません。私たちが自分の個性を用いて協調し合うことこそ価値があるのです。そのために今まで、当たり前と思っていた標準を捨てないと、素晴らしい価値観が出てきても受け入れる事ができません。私たちは標準の中で生きてると“メンドクサイ”という考え方になります。正しい思いが標準という価値観の中で潰されてきた結果、やる気を失わせてしまうのです。標準の中に生きる事がいいことではありません。むしろ自分の素晴らしさに気づく事が大事であり価値があることです。今まで築いてきた標準で判断をしてはいけません。私たちには良い思いがわいてきます。しかしそれも標準という物差しで計り、止めてしまうのです。（Ⅱコリ5：16）人間的な標準で周りを見ないようにしましょう。（コロ3：8～10）特にここに書かれている「すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。」この事が重要なのです。この他人を悪く見てしまうことが標準となるのであれば、良い事ができるわけがありません。私たちの口から出る言葉に細心の注意を払いながら生活していきましょう。新しく生きるために**③キリストの愛の土台に感謝に生きる**。私たちには愛の土台の上に感謝を持って生きていく事が大切なのです。愛の土台がなくては意味がありません。私たちが愛されている事が分かるからこそ、本当の感謝が生まれてきます。私たちの周りにいる方々に感謝をしているのでしょうか。継続して感謝するには、私たち自身が愛されている事を知ることが大切なのです。イエスキリストは大きな愛を私たちに表してくれました。これは私たちを愛している事を伝えるためでした。私たちはこの愛の土台があってこそ、周りの人を愛する事ができます。神は私たちを素晴らしく個性的に創ってくださいました。この体、また私たちの人生をどのように用いるのかは私たちが愛されている事を知り、その愛を土台にしない限り、正しい行動をしていくことはできません。私たち自身を使いこなしていくために、古い自分を捨て去り、キリストにあって新しく生まれ変わっていきましょう。（要約者：平澤一浩）